

浸透性吸水防止システム  
浸透性 遮水・撥水・防水剤

NETIS 登録番号  
CG-120004-A

# レジソーク

Type1



大日本塗料株式会社

## — コンクリートの耐久性をアップする、浸透性吸水防止システム —

コンクリート構造物は、100年の耐久性があるとされてきましたが、近年において、環境の変化、コンクリートに対する劣化メカニズムの解明、診断方法の進歩により、コンクリートの耐久性が見直されてきており、特に既設構造物に対しては、補強や補修による延命化が急務になっています。

近年の新設コンクリート構造物は、予防保全の観点よりコンクリート内部の鉄筋腐食に対する様々な対策や工法が開発されてきており、より過酷な環境や公共性の高い構造物は事前に劣化防止対策が施される場合も多くなりました。

この度、新設時のコンクリート構造物の予防保全対策として表面からの水分浸透の抑制、および塩害や中性化などによるコンクリート構造物の劣化進行を抑制し、耐久性を向上することを目的とした表面含浸材を開発致しました。

コンクリート表面から含浸させ、コンクリート表層部の組織を改質し、従来表面に被膜を作り保護してきた機能をコンクリート内部表層に持たせることで耐久性向上を実現させる、浸透性吸水防止材『レジソークType1』を紹介致します。

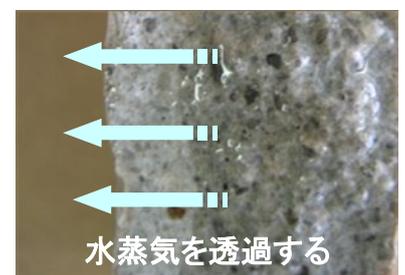
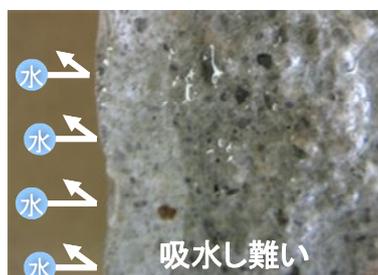
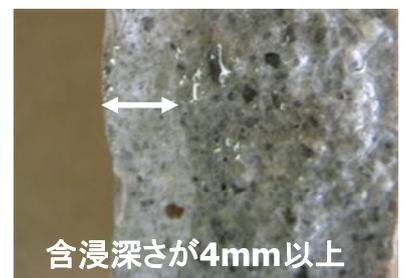
### ■表面含浸工法に期待される改善効果

- 1) コンクリート構造物の中性化、塩害などの劣化抑制効果
- 2) 表面含浸材が含浸し、表面の密実性を向上させる
- 3) 維持管理コストの軽減



### ■レジソーク Type1 の特徴

- ① 塗装方法が簡便である
- ② 含浸による外観変化がなく、コンクリートの質感を損なわない
- ③ 表面含浸材が含浸し、密実なコンクリート表層部を形成する
- ④ 外部からの水分の透過阻止、吸水阻止、水蒸気透過阻止性に優れる
- ⑤ 空気中の二酸化炭素によるコンクリートの中性化を防止する
- ⑥ 外部からの塩化物イオンの侵入を抑制する
- ⑦ 耐候性に優れている



## ■ 要求性能

評価項目		試験方法
外観性		JSCE-K 571-2005 「表面含浸材の試験方法」による
含浸性		
透水に対する抵抗性	透水抑制率	
吸水に対する抵抗性	吸水抑制率	
透湿性	透湿比	
中性化に対する抵抗性	中性化抑制率	
塩化物イオン浸透抵抗性	塩化物イオン浸透抑制率	
紫外線劣化抵抗性	紫外線劣化抑制率	JSCE-K 511-2005「表面被覆材の耐候性試験方法(案)」のサンシャインカーボンアークランプ式耐候性試験機を用いて3000 時間試験後に、JSCE-K 571 に準拠して透水量試験を行う。

## ■ 塗膜性能

工程	名称	商品名
浸透性吸水防止材塗布工	浸透性吸水防止材	レジソーク Type1

### <塗膜性能>

評価項目	試験方法	試験結果
外観性	JSCE-K 571-2005 「表面含浸材の試験方法」による	含浸による外観変化がない
含浸性		4. 4mm
透水に対する抵抗性		抑制率: 96%
吸水に対する抵抗性		抑制率: 93%
透湿性		100%
中性化に対する抵抗性		抑制率: 100%
塩化物イオン浸透抵抗性		抑制率: 100%
紫外線劣化抵抗性	JSCE-K 511-2005「表面被覆材の耐候性試験方法(案)」のサンシャインカーボンアークランプ式耐候性試験機を用いて3000 時間試験後に、JSCE-K 571 に準拠して透水量試験を行う。	抑制率: 96%

※ 一般財団法人 日本塗料検査協会試験結果報告書参照

## ■ 塗装仕様書

仕様 No.RST1-1

# レジソーク Type1システム

1. 塗装系の種類・名称： 浸透性吸水防止材・レジソーク Type1
2. 適用箇所、環境条件： コンクリート構造物(未塗装)
3. 適用規格： 中日本高速道路株式会社東京支社「コンクリート表面含浸工設計施工指針」  
土木学会「表面含浸材の試験方法(案)JSCE K-571 2005」

### 4. 使用塗料一覧

材 料 名	商 品 名	希 釈 剤
浸透性吸水防止材	レジソークType1	—

### 5. 塗装工程

工 程	商 品 名	混合割合 (重量比)	希釈率 (重量%)	塗装方法	標準 使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	目標膜厚 (μm)	塗装間隔 (20℃)
1 素地調整	漏水・ひび割れ等は事前に処理する。 表面の脆弱層、その他の塵埃や異物を完全に除去する。 突起物や段差等は動力工具や手工具を併用して平滑にする。 全表面を処理した後、ブラシ、ほうき、エアブロー等で被塗面を十分に清掃する。						
2 塗 装	レジソークType1	—	—	刷毛 ローラー	0.19	—	指触後 ～ 7日

- 注) 1. 素地調整の良否は塗膜の性能等に大きな影響を与えるので、コンクリートの素地状態に応じた素地調整方法を適用する。  
2. コンクリート表面含水率が5%以下(kett社 HI-520)を確認し施工する。  
3. 施工後短時間に雨が当たると塗膜が白変する恐れがあるので注意する。  
4. 表面撥水性の効果は環境条件によるが、通常7日後には発現している。  
5. 効果の確認は、未塗装部分との散水比較により、コンクリートの濡れ状態を見ることで可能である。  
6. 厚く塗布しすぎると粉化物を生じることがあるが、コンクリートの保護性能には影響は無い。

## ■ お問い合わせ先

大日本塗料株式会社 構造物塗料事業部 (東京) Tel 03-5710-4502  
(大阪) Tel 06-6466-6626

※ お気軽にご用命下さい